

☆..きらっと☆図書館講座⑦with キャリア支援センター..☆

☆..卒業生からのメッセージ 2014 part1 ☆ 4月21日(月)12:20~12:55

今回語ってくれた卒業生は勝 拓人さん(2011年度地域こども学科卒業生 2012年度専攻科修了生) ニッセイ聖隷健康福祉財団奈良ベテルホーム:介護老人保健施設に介護福祉士として勤務している先輩です。在学生からは、

「専攻科にどうして進学したのですか?」「仕事をしていてよかったと思うことは何ですか?」

「仕事をする上で大切にしていること、注意していることは何ですか?」「今後、目標としていることは何ですか?」「実習生を受け入れる立場になって、実習生に気をつけてほしいことはありますか?」「実習に行けば、実習記録簿を書かなければなりません、記録簿を書く良い方法はありますか?」「在学中どんなことに注意して勉強したらよいですか?」「学生時代からさらにコミュニケーション能力を身につけられたように思いますが、どうすればコミュニケーション能力を高められると思いますか?」などの質問がありました。先輩は、「介護福祉士資格が1年で取得できることと、もう1年学生生活を送りたいと思ったので専攻科に進学しました。実は、地域こども学科卒業時に、実習先の園から就職のお誘いがありましたが、自分の今後のステップアップを考えて、専攻科に進む道を選択しました」「毎日自分を待っていてくれる利用者さんの笑顔に出会えることです。愛しい存在です。そのことが仕事のやりがいにもなっています」「仕事をする上で大切にしていることは、やりがいを持つことです。そして仕事をする上で気をつけていることは、人との関わりです。利用者さんに嫌な思いをさせていないか一人ひとりの利用者さんによって接し方を変えながら、常に配慮をしながら接するよう心がけています」「今後は、5年介護福祉士として勤務し、ケアマネジャーの試験を受けて、ステップアップしたいです。いろいろとやりたいことがあるので、意見を言いやすい立場になるよう職場でも努力していきたいと思います」「不器用でも、利用者さんにできるだけ積極的に関わってほしい。職員は業務に追われがちなので、実習生には、利用者さんにいっぱい関わってあげてほしいです。どう関わったらよいか分からない場合は、(忙しそうで声をかけにくいかもしれませんが、時間を作っていただいて)職員の方に質問をしてほしいと思います」「なかなか書くのは難しいのですが、まず書いてみることで、自分の言葉で相手に自分の思っていることを伝えようという気持ちを文章にしてみることでいいかなと思います」「どれだけ利用者さんのことを考え、相手の気持ちを考え、周りの意見を聞きながらコミュニケーションをとれるか、その点に注意しながら勉強してもらえればよいかなと思います」「地域こども学科の学生時代に、女性の多い集団の中で「てあそび」をするなどの経験が生かされていると思います。それは、職についてからも同じですが、できるだけ人前に出て自分の思いを話す機会を増やすこと



だと思えます」など いろいろな質問に答えていました。福祉コースの学生など約 30 名の参加がありました。在学生のアンケートでは、

"まだ不安でいっぱいな自分に自信をくれた講演でした" "実際に働いている人の意見はかなり貴重で参考になりました" "自分の気になることや思っていたことを聞けました。今後に生かしたいです" "自分はこれからです・・・。後は先輩に追いつけるように頑張っていきます" "介護施設のことについて知れたので良かったです。卒業までにすることなどが分かって良かったです。実習などで役立てていきたいです。すごく勉強になりました。ありがとうございます" "ちょうどよい時間で分かりやすく話してくれたので、知らなかったことも知ることができました。今後に役立てていきたいです" などの声が寄せられました。また、教職員からは、

“在学生にとっては、先輩の話を実際に間近で聞けるのは刺激的で興味深いと思います。又、講座の規模もアットホームで学生も質問しやすかったと感じました” “これからステップアップを目指そうと思っている学生達に対して、とても良いメッセージだと思いました。これから社会に出て働こうとしている学生達に対して励みにもなり、働くというのはそんなに怖いことじゃないんだよということが伝わったのではないのでしょうか” “さすがに社会に出て仕事をしているんだと改めて卒業生の成長を感じることができてとても嬉しかったです。特に会場の学生の気持ちを和ませつつ、きちんと伝えなければいけないことを伝える言葉が豊かに伝わったと思いました” などの声が寄せられました。

勝さん、忙しい中、本当にありがとうございました。働き始めてからもさらに成長した姿を直に拝見できて先生や私達職員もとても感動しました。また、遊びに来てくださいね。

“きらっと☆図書館講座⑥ ☆..きらきら よい子の遊び講座..☆2014part1”

“心をひらく音楽の力：歌って踊って自立支援” 5月12日(月)12:20~12:55

<プログラム>

上を向いて歩こう

茶摘 (ちやつみ)

きよしのズンドコ節

矢切の渡し

憧れのハワイ航路

ふじの山

明日があるさ

シリーズ6回目となる今回は、“心をひらく音楽の力：歌って踊って自立支援”というタイトルで開催しました。音楽ボランティアをライフワークとして活躍しておられる本学非常勤講師の和田宏一先生とピアニスト・作曲家の大藪真紀子先生に加えて、訪問看護ステーション職員の夏山恵子さんをゲストにお招きし、レクリエーションの場において音楽をどう生かせば良いか、体操や手遊びを交えてご指導いただきました。





先生方から“施設で利用者さんに好まれる曲”には、唱歌・歌謡曲などがあることを教えていただき、歌謡曲の代表曲として、坂本九の国民的ヒットソング『上を向いて歩こう』を、また唱歌の代表曲として『茶摘』の紹介がありました。そして、大藪先生の伴奏で、和田先生が『上を向いて歩こう』を歌ってくださいました。次に、大藪先生と和田先生に手遊びの方法を披露していただいた後、和田先生が歌う『茶摘』に合わせて会場の皆さんも一緒に手遊びをしました。会場はとても盛り上がりました。施設職員（訪問看護ステーション 伽羅 管理者・看護師）として働いておられる夏山先生からは、レクリエーションの実際だけではなく、学生に向けて「コミュニケーションって何だと思いませんか」との質問など、福祉の現場で働く上でご自身が大切にされていることをお話しいただきました。学生からは、“お互いを知ること”などの回答がありましたが、夏山先生からは、「そうですね。コミュニケーションとは、お互いを知り理解すること。施設に行ったら自己紹介しますよね。その後は、(利用者さんに) どんどん質問をしてください。“相手を知ろう、自分を知ってほしい”と努力することで、会話の糸口が見つかります。また積極的に物事に関わることも大切です。自分の施設のスタッフには、そのように指導しています。」と話されていました。続いて、「施設で行うレクリエーションには様々ありますが、今回のテーマは音楽を使ったレクリエーションなので、実際施設で行っている例を紹介します」ということで、まずは、『きよしのズンドコ節』に合わせて手ぬぐいを使った体操を教えてくださいました。学生さんも前に出て参加しました。次に、片麻痺のある方や立つことが困難な方でも、座ってできるレクリエーションを教えてくださいました。和田先生が歌う『矢切の渡し』に合わせて、“エンヤットット、エンヤットット”のかけ声とともに櫓(ろ)を漕ぐ動作をしながら、一緒に歌いま



した。演歌が2曲続いたあとは少し曲調を変えて、和田先生の歌う『憧れのハワイ航路』に合わせてペットボトルを再利用して作ったマラカスを振り、一緒に楽しみました。唱歌としてなじみの深い『ふじの山』では、歌に合わせた振り付けを教えていただき、一緒に体操をしました。曲の合間には、図書館講座という趣旨から“選曲する際に参考にしている本”なども紹介していただきました。最後に、CMなどにも使われ若い世代にもなじみのある『明日があるさ』を会場の皆さんと一緒にマラカスを振りながら歌いました。お昼休みでしたが、生活未来科生活福祉コース、専攻科、交換留学生など、約40名の参加がありました。アンケートでは、「一緒に参加することで学ぶことが多かった。」「歌を歌うだけじゃなくて、手遊びなどがあって楽しかった。実習でも使っていきたいです。」「実習に行く上で必要だと思った。」「とてもためになる講座だと思います。とても楽しかったです。」「音楽ってやっぱりいいですね。楽しかったです。踊れて良かった。」「勇気が出ました。実習頑張ります。」などの声が寄せられました。

2014 大学祭イベント報告

①きらきらいよ子の遊び講座 大学祭編 「ならのお話をききませんか」

10月19日(日)12:30~13:00 同好会「なら研」部長ビジネスキャリアコース2回生上西日和さん主催・企画で開催しました。地域こども学科2回生大重健さん、卒業生らも応援もあり、一緒に紙芝居やペープサートを演じました。

始めに、東大寺のお坊さんの物語である「良弁杉」の紙芝居をしました。次に、『修二会：お水取り』の起源に関するお話を上西日和さんオリジナルの同好会「なら研」イメージキャラクター「ぶっちゃん」の語りにより、ペープサートで演じました。最後に、『東大寺三択クイズ』をしました。正解した子ども達には、お菓子が配られました。子ども達は真剣に問題に取り組んでいました。クイズは7問ありました。金剛力士像には実は祈るとご利益があります。それは何？(①手先が器用になる、②元気になる③健脚になる：③が正解)

大仏さんの大きさは何メートルでしょう(①18m ②10m ③22m：正解は①)などのクイズが出されました。クイズの合間には、「大仏さんは立つと大体30mくらいになる」など、仏像ネタの豆知識の紹介もありました。



会場には、地域の親子連れなど約30名の参加がありました。

アンケートでは、「楽しい会をありがとうございます。ガンバリマシタネ!」「子どもたちが地元の歴史や文化財に興味を持つきっかけになってよかった。」「素晴らしかったです



す。勉強になりましたよ。
応援しますよ」

「とても意義があると思います。ぜひ、またどこかで!」
「奈良仏像の知識をたくさん持っていて素晴らしいですね。言葉の使い方も丁寧で説明も分かりやすかったです。ありがとうございました。」
など、たくさんの声が寄せられました。



②絵本のひろば

卒業生による絵本の読み聞かせや、ぬり絵を楽しむ「えほんのひろば」を開催しました。今年、聴講生による手作りおやつを販売し、館内でお茶も楽しめるようにしました。“えほん”や、“ぬりえ”を楽しむ家族連れらで、会場はにぎわいました。2日間で延べ約45名の家族連れの参加がありました。どうもありがとうございました。

